

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）  
課題設定型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

疫病の文化形態とその現代的意義の分析

—社会システム構築の歴史的考察を踏まえて—

研究テーマ名

医学史の現代的意義—感染症対策の歴史化と医学史研究の社会との対話の構築

責任機関

学校法人慶應義塾

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
(対話グループ) <u>研究代表者兼グループリーダー</u> 鈴木 晃仁	慶應義塾大学・経済学部・教授
<u>分担者</u> 尾崎 耕二	大手前大学・総合文化学部・教授
逢見 憲一	国立保健医療科学院・生涯健康研究部・主任研究官
廣川 和花	専修大学・文学部・准教授
慎 蒼健	東京理科大学・工学部第一部・教授
安田 佳代	首都大学東京・都市教養学部・准教授
八代 嘉美	京都大学・iPS細胞研究所・上廣倫理研究部門特定准教授
橋本 明	愛知県立大学・教育福祉学部・教授
高林 陽展	清泉女子大学・文学部・専任講師
大谷 誠	同志社大学・人文科学研究所・嘱託研究員
山下 麻衣	京都産業大学・経営学部・教授

佐藤 雅浩	小樽商科大学・商学部・准教授
<u>佐藤 健太</u>	なし（疾病文学の編集）
<u>石井 保志</u>	市民研究グループ・健康情報棚プロジェクト代表
<u>飯山 由貴</u>	なし（アーティスト）
（アーカイブズグループ）	
<u>グループリーダー</u>	
飯島 涉	青山学院大学・文学部・教授
<b>分担者</b>	
市川 智生	長崎大学・熱帯医学研究所・助教
久保田 明子	広島大学・原爆放射線医科学研究所・助教
脇村 孝平	大阪市立大学・経済学研究科・教授
磯部 裕幸	秀明大学・学校教師学部・准教授
<u>門司 和彦</u>	長崎大学・国際健康開発研究科・教授
<u>千種 雄一</u>	独協医科大学・医学部・教授
<u>小川 和夫</u>	目黒寄生虫館・館長
<u>堀尾 政博</u>	長崎大学・熱帯医学ミュージアム・教授
<u>北 潔</u>	東京大学医学部・教授兼長崎大学国際健康開発研究科教授
<u>大前 比呂思</u>	国立感染症研究所・客員研究員

※実務者は氏名に二重下線

#### 配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
5,000,000	9,500,000	9,000,000	3,500,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

#### 研究目的の概要

近現代日本の医学史は近年において高水準の研究が行われるようになった。研究をさら

に二つの方向に発展させるために、歴史研究の基盤としてのアーカイブズの構築と理論的な考察を深めることと、医療者と患者を中心にした人々と医学史との対話・相互作用の理論を構築することの二点を行う。

#### 研究計画の概要

感染症の抑制に関する疫学的なデータを集約し、関係者からの聴き取り調査を記録化する。医療者・患者たちと医学史研究の間の一連の交流と対話を行い、その成果を一般市民に公開すると同時に、学術書の論文集にまとめる。